

ゆりかご 園だより

2023. 8. 1

2期(6~9月)のねらい
からだづつ活動を通して子どもの仲間
関係の質を高めよう

新型コロナウイルスが5類になりようやく今まで
あたりまえと思っていた日常が徐々に戻りつつあります

先日、父母の会主催の新入園家庭歓迎会+
プチ夏まつりがにぎやかに開かれました。こうした
飲食を伴う行事は実に4年ぶりです。新歓は5

月に開く予定でしたがあいにく胃腸炎が流行し延期に。今回も前週まで
ハルペンギーナが流行りドキドキしながら当日を迎えました。参加を予定していた
けれど、家族の体調不良のため欠席した家庭もありましたが何とか開催
することができました。今回は久しぶりの行事ということで、慎重さも必要になり、通
常のような地域の方々卒園家庭を積極的に誘っての夏まつりとはな
りませんでした。たくさん卒園家庭が手伝いに来てくださいました。そのおかげ
で在園家庭の方々も楽しんでいただけたのではないかと思います。数えると、41家庭
136名、職員17名、卒園家庭40名と大変な賑わいになりました。

「やっぱりゆりかごの行事はいいねー」「この雰囲気、なつかし〜」

「来年はバザーもや、てね」「今年は熱燗パーティーやるよね」

と、何人にも声をかけていただきました。通常の新歓や夏まつりと違ったことで混
乱もあり、次回に向けての改善すべき点はありますが、久しぶりの父母と共に
開催する行事が事故なく終わりホッとしました。

翌週月曜日の朝、りす組のSくんが父母の会のSさんに玄関で出会うと、「あ、
おまつりを作った人だ!」と発しました。Sさんはコロナ禍前のゆりかご行事を体
験している数少ない保護者です。ほとんどの父母の会役員たちがイメージのない中、
皆「子どもたちの喜ぶ顔が見たい」「大人たちのつながりを大切にしたい」とSさん
が中心となり相談を重ね、成功に向け準備をしてくださいました。

そのことをSくんがなぜ知っていたのか? .. 尋ねてみると「だてでS見てたもん」
とのこと。何をしていたのかはわかりませんが、Sさんの頑張りをなんとなく感じていた
のかかもしれません。

感染症が流行せずうまくいけば次はおやじの会主催
の熱燗開でしょうか? 子どもが「〇〇ちゃんのお父さん、てすいね」
「子どもたちのためにがんばっているよ」と思ってくれればいいですね

